

5.2.0 原因分析（なぜなぜを繰り返す）

- 問題点に対する要因の抽出
 - ヒューマンエラー起因不具合の分析において、
 - ①事象の経緯、
 - ②問題点（ヒューマンエラー等）を明確化
 - ③それらを引き起こした「要因の抽出」
- 「要因の抽出」手法
 - なぜなぜ分析
 - エラー原因を見つける
 - トヨタ生産方式を構成する代表的な手段の一つ
 - 『なぜ』を5回繰り返すこと（5回にこだわる必要なし）
 - PSF法（リファレンス・リスト法）

5.2.1 (1) なぜなぜ分析とは

- ・ 特長

事象の経緯整理によって明確になった問題点、エラーに対し、「なぜ」発生したのか要因を考える

さらに「なぜ」を繰り返し、要因追及、再発防止対策に結びつくまで行う

- ・ 目的

ヒューマンエラーを引き起こした根本的な要因究明、問題解決、再発防止の具体策の確立

5.2.1 (2) 手順③「要因の抽出」 なぜなぜ分析の手順

- ア 問題点の把握
- イ なぜなぜの追求
- ウ なぜなぜ分析を実施する際の考慮事項
- エ なぜなぜ分析の終了基準

5.2.1(2) ア 問題点の把握

- ・ 仕事の基本中の基本である「3現主義」
- ・ 現物をよく観察、現場の状況を細かく把握、事実を明確に
- ・ 問題が製品にある場合
その製品の機能（働き、役割）と構造を、図面や取扱説明書などからの理解
製造過程（設計～製造～試験～出荷など）詳細に把握
- ・ 問題が業務にある場合 業務の流れに従い、工程ごとにその手順、内容を業務フローから正確に把握
- ・ いきさつダイアグラム 等 ⇒ 問題点を把握